

信用金庫の新しいビジネスモデル策定（2024-09）

- 非正規職員の活躍状況「事前課題の集計結果」 -

ポイント

- 本稿は当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果となる（回答数は55金庫）。
- 全ての研修受講金庫が非正規職員を雇用しており、その内訳をみると嘱託（再雇用者）、パート、派遣など多様な人材で構成されている。
- 非正規職員の業務内容は、期待する役割や雇用形態によって、本部・営業店の補助的業務からテラー・渉外担当、更には職員同様の職位付与など多岐に亘る。
- 非正規職員の活躍拡大に対する期待が高まる一方で、近年は人員確保で苦慮する研修受講金庫が増えている。

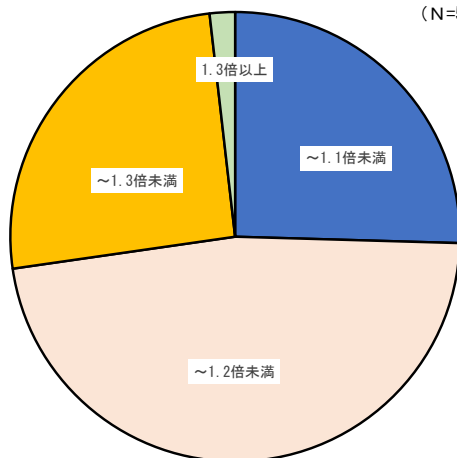
（注）本稿は、当研究所主催「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の事前課題の集計結果をまとめたものである。

1. 非正規職員の活躍状況

信用金庫が経営の安定を図るうえで、嘱託職員やパート・派遣職員といった非正規職員の活躍は不可欠とされる。そこで当研修の事前課題では「非正規職員数」および「主な業務内容」を確認した。集計結果をみると、全ての研修受講金庫が非正規職員を雇用しており、常勤役職員数対比¹で1.16倍となった（図表1、2）。信用金庫別では、総人員数が常勤役職員数の1.3倍を超える事例もあった。

（図表1）常勤役職員数と総人員数の関係

（N=55金庫）



（図表2）事前課題の概要等

質問事項	【非正規職員の活躍】 ①非正規職員数 ②主な業務内容
対象金庫	経営戦略プランニング研修（2024年度）受講金庫
回答期間	2024年6月3日～7月31日
回答金庫数	55金庫
その他	非正規の定義は信用金庫によって異なる可能性あり。
参考	詳しくは、金融調査情報（2024-10）「信用金庫の新しいビジネスモデル策定①-「経営戦略プランニング研修（2024年度）」の概要-」を参照

（備考）図表1から3まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

¹ 常勤役職員数と総人員数（常勤役職員数+非正規職員数）との対比

2. 非正規職員の業務内容

信用金庫の雇用する非正規職員は定年退職後の再雇用職員（嘱託職員）が中心であり、必要に応じてパート職員や派遣職員を活用している。

主な業務内容は、期待する役割や雇用形態によって異なるが、本部・営業店での補助的な業務が多く、個別に営業店のテラーや渉外担当を担うケース、職員同様に職位や権限を付与されるケースなどがみられた。

3. 活躍拡大の課題など

常勤役職員数の減少が深刻化するなか、非正規職員の更なる活躍拡大に期待する研修受講金庫は多い。その一方で複数の信用金庫から『パート職員の時給上昇などで人員確保が困難』『現在の処遇ではモチベーション向上まで求められない』との意見があった。また『非正規職員の活躍拡大の結果、現役職員の活躍機会の喪失が懸念される』などの問題提起もみられた。

4. 研修受講金庫のコメント

研修受講金庫による事前課題の主なコメントは図表3のとおりである²。

（図表2）研修受講金庫のコメント例

- 最低賃金の引上げやパート時給の上昇などから、現在の募集内容では非正規職員の確保が困難になりつつある（正規職員の給与テーブルとのバランス調整に苦慮）。
- これまでは金庫OB・OGで非正規職員を賄えたが、人員不足によりハローワークに求人を出した（派遣会社の利用を開始した事例もあり）。
- 金融業務を未経験のパートや派遣職員は、金融機関に求められる継続的顧客管理や多様化する業務への不満などから定着率が低く、それが課題と認識している。
- 優秀なパート・派遣職員に対しては、正規採用に繋げる教育・指導を行っている。
- 当金庫は、テラー業務や集金業務を担当する非正規職員もおり、担当する業務内容によって処遇や契約内容を変えている。
- 現在は非正規職員に任せられる業務を洗い出しており、正職員との役割分担を再設定していく考え（例えばテラー業務の非正規職員化などを想定）。
- 当金庫に専門職はおらず後任の育成も困難なので、再雇用職員の有する経験値が貴重な戦力となっている。当金庫の業務の多くを再雇用の非正規職員が担っている状況である。
- 職位を残したままの再雇用職員の増加が懸念されている。嘱託管理職の活用はやむを得ないが、現役職員のモチベーションを考えれば抑制したい。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

² 信用金庫のコメント等は研修受講者の個人的な意見・感想を含むものであり、受講金庫の正式なコメントではない。そのため事例の記載にあたっては信用金庫名が特定できないように修正してある（個別信用金庫名や詳細資料の提供依頼にはお応えしていません）。